

※本学図書館で所蔵している本は書名に赤線を引いています。資料ID番号で検索すると利用状況がわかります。

【心理・福祉学部 心理学科】

1

- (1) 書 名 脳のなかの倫理—脳倫理学序説
- (2) 著 者 名 マイケル・S・ガザニガ
- (3) 出版社名 紀伊國屋書店
- (4) 配架場所 7階開架閲覧室
- (5) 請求記号 491.371/G29 (資料ID 12606192)
- (6) 推薦コメント

科学、医学の進展、脳やゲノム研究の進歩にともない解決すべき課題も生まれた。「胚はいつから人になるのか」といった生命倫理の問題や、記憶力アップ、賢い脳をつくるためのサプリメントや薬の開発、知能と関連する遺伝子の特定や遺伝子検査の問題など。神経科学者が様々な倫理、道徳的問題を提起する。

2

- (1) 書 名 夜と霧
- (2) 著 者 名 ヴィクトール・E. フランクル
- (3) 出版社名 みすず書房
- (4) 配架場所 7階開架閲覧室/自動書庫
- (5) 請求記号 946/F44 (資料ID 13354405/13071969)
- (6) 推薦コメント

本書は、第二次世界大戦下に強制収容所に収容された心理学者自身の体験に基づいて書かれた。過酷な状況の中でいかに生きる望みを失わず自分の人生と向き合ったか。いつの時代にであっても心を動かす古典的名著である。

3

入荷しました

- (1) 書 名 スマホが学力を破壊する
- (2) 著 者 名 川嶋 隆太
- (3) 出版社名 集英社
- (4) 配架場所 7階開架閲覧室
- (5) 請求記号 493.937/Ka97 (資料ID 04295412)
- (6) 推薦コメント

※本学図書館で所蔵している本は書名に赤線を引いています。資料ID番号で検索すると利用状況がわかります。

脳科学者である著者が、スマホが脳に与える影響を示唆し、スマホ社会に警鐘を鳴らしている。既にスマホが手放せない人、一日の多くの時間をスマホに費やしている人には、読みたくない本かも知れないが、そうした人にこそ是非読んで欲しい。スマホに頼らない生活を取り戻すことは、まだ間に合うのだから。